

ふるさとの心

その14 轟上水道



良質の水がつきることなく湧き出ています



より大きな大人になりたい

石川美智代

故郷を離れて、一年半、初めて親許を離れ、我ながらよくこれまでやってこれたと思うこの頃です。二年目ともなると、仕事にも慣れ、友達もたくさんでき、何やかやと仕事に遊びに忙しい日々を送っています。

入社時は、言葉もちよつと気になり、知らない人々の中で不安な毎日を送っていました。色々な所から集まった同期の人々とは、すぐに仲良くなり、同期の会などを作り、ハイキング、旅行、スポーツ大会、討論会など、種々の活動を行っております。

私の仕事は庶務係と言って課の人の事務的な手続きの世話をするところです。入社当時、先輩の人々の中にぼつりと入り、まして、その人々の世話をすることによって少々の不安を感じましたが、周囲の人々の、親切、いたわりがありスムーズに仕事にもうちとけていった気がします。

学生時代、社会人になると、冷たく、親友もできず、孤独な生活をおくり、酒宴などのつき合いもたいへんだと思いました。今自分を見つめなおしてみた時、大きなかべ、人間関係のむずかしさなどの問題はあったけど、先輩のあたたかな意見、助言などによって、自分でも、おどろくほど成長したような気がします。

現在のこのような社会情勢の中で、今後、自分がどのように生きどのように変わっていくのかわからない。しかし、これからも良き意見、助言にささえられて、より大きな、大人になっていきたいと思っています。

昭和四十八年三月 県立八代東高校卒

勤務先 東京芝浦電気㈱ 横浜金属工場